

気候変動分野の情報開示において、CDP A スコアを獲得

～ 透明性とパフォーマンスにおけるリーダーシップが認められる ～

新日本空調株式会社（代表取締役社長 前川 伸二）は、国際的な非営利団体である CDP より、気候変動分野の透明性とパフォーマンスにおけるリーダーシップが認められ、2023 年度の A リスト企業に選定されました。気候変動質問書を通じて報告されたデータに基づき、スコアリング対象となった 21,000 を超える企業のうち、「A」を達成した数少ない企業の中の 1 社となりました。

新日本空調グループは、持続可能な地球環境の実現のために、環境問題を経営の重要事項と位置づけ、脱炭素社会の実現に向けた活動を推進しています。当社グループは、気候関連問題が経営に及ぼす影響を評価・管理するため、温室効果ガス（CO2）を指標とし、今後の SBT 認定を見据え、SBT に基づいた削減目標を設定し、省エネ設計・施工提案、および、積極的な再生可能エネルギー導入を実施し、今後も引き続き環境負荷低減に取り組んでまいります。



【CDP について】

CDP は、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非営利団体です。2000 年の設立以来、CDP は資本市場と企業の購買力を活用することで、企業が環境影響を開示し、温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護することを促進する取組みを先導してきました。現在では 136 兆米ドル以上の資産を保有する 740 を超える署名金融機関と協働しています。2023 年には、世界の時価総額の 3 分の 2 に相当する 23,000 社以上、そして 1,100 以上の自治体を含む、世界中の 24,000 を超える組織が CDP の質問書を通じて環境情報を開示しました。CDP は TCFD に完全に準拠した質問書に基づく世界最大の環境データベースを有し、CDP スコアはネットゼロ、持続可能でレジリエントな経済を構築するために投資や調達の意思決定に広く活用されています。



新日本空調グループは、企業が中長期的に持続的成長を目指す上で重視すべき3つの側面、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）を視野に入れたESG経営を実行しています。当社グループの事業特性を踏まえた上で、ESG経営の観点から、あらゆる事業活動における課題を特定し、中長期的取り組み目標を定め、SDGsに代表される国際的社会的課題の解決に資する事業活動を推進します。

本リリースの取り組みは、SDGsにおける1つの目標に貢献しています。

目標13： 気候変動に具体的な対策を



以上

【お問合せ先】

新日本空調株式会社 経営企画室
コーポレートコミュニケーション課 福安 麻美子
Tel : 03-3639-2701
Fax : 03-3639-2731
Mail : fukuyasum@snk.co.jp

新日本空調株式会社 経営企画室
企画・サステナビリティ推進部 星野 昌亮
Tel : 03-3639-2701
Fax : 03-3639-2731
Mail : hoshinom@snk.co.jp